

連続立体交差事業は都市の活力を 生み発展を支えるインフラ整備です

ストック効果
1 (※)

「開かずの踏切」がなくなり
人とモノの流れがスムーズな街が実現!

(※)ストック効果：整備された社会資本が機能することによって継続的に中長期的に得られる効果

after



京浜急行本線・空港線(京急蒲田駅付近)

before



第一京浜の交通渋滞が解消



高架化前	780m
高架化後	解消

0 200 400 600 800(m)

ストック効果
2

沿線の開発や高架下利用が進み
便利で賑わいのある街が実現!

before



武蔵小金井南口(平成元年)

after



武蔵小金井駅南口(平成23年)
JR中央線連続立体交差事業
武蔵小金井駅南口再開発事業

業務商業施設の延床面積の増加



再開発前	7,200㎡
再開発後	69,000㎡

約9.5倍

高架下の商業利用



問い合わせ先

東京都連続立体交差事業促進協議会 事務局(東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課)

☎03-5320-5331